

平成 29 年度エネルギー対策特別会計委託業務
「地元地域の新聞を通じた情報提供事業（新聞広報）」

委託業務成果報告書

株式会社 福井新聞社

本報告書は、文部科学省の平成 29 年度エネルギー対策特別会計委託事業による委託業務として、株式会社 福井新聞社が実施した平成 29 年度「地元地域の新聞を通じた情報提供事業（新聞広報）」の成果を取りまとめたものです。

【業務の実績】

各業務の実施日程

業務項目	実施日程											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①アンケート調査の分析											↔	
②新聞本紙・情報誌広告 制作・掲載											↔	新聞掲載 3月18日
											↔	月刊fu掲載 3月27日
③説明会採録広告 制作・掲載											↔	説明会採録掲載 3月20日
④業務実施に関する評価											↔	事後アンケート 3月10日・11日
											↔	業務評価委員会 3月14日

① アンケート調査の分析

② 新聞本紙・情報誌広告制作・掲載

新聞本紙 平成30年3月18日掲載 全15段(カラー)

情報誌 月刊fu(ふう)4月号 平成30年3月27日発行 本文4頁(カラー)

③ 説明会採録広告制作・掲載

新聞本紙 平成30年3月20日掲載 全15段(カラー)

④ 業務実施に関する評価

事後アンケート調査

福井地区 実施日：平成30年3月11日 会場：エルパ(福井市大和田町2-1212)

敦賀地区 実施日：平成30年3月10日 会場：アピタ敦賀(敦賀市中央町1-5-5)

業務評価委員会

実施日：平成30年3月14日 場所：福井放送本社

評価委員(外部有識者3名)

- ・ 砂川武義 氏(原子力)
- ・ 早川 公 氏(コミュニケーション)
- ・ 平塚幹夫 氏(財政・運営)

【業務の実績の説明】

① アンケート調査の分析

「地域住民の意識を踏まえた説明会の実施（広聴・広報事業）の受託者が実施した事前アンケート調査の結果、地域住民の関心の高い項目は「廃止措置計画」や「エネルギー研究開発拠点化計画」を中心とした「これからの『もんじゅ』」についてであった。

② 新聞本紙・情報誌広告制作・掲載

「福井新聞」本紙
掲載日：平成30年3月18日／全15段（カラー）

The advertisement is a multi-page spread from the Fukui Shimbun. It features a prominent Q&A section at the top, a progress chart for the decommissioning plan, and an interview with a local resident. The layout is clean and professional, with clear headings and organized text. The Q&A section addresses various concerns and questions from the public, providing detailed answers. The progress chart shows the timeline for the decommissioning plan, and the interview highlights the local community's perspective on the project.

これまでの「もんじゅ」が担ってきた研究開発の意義や廃止措置計画に関する説明等について情報発信し、知識の普及と理解の促進を図ることを目的とした広報紙面を作成した。広聴広報事業の受託者が実施した街頭アンケート結果から、地域住民の関心が高い「廃止措置計画」や「エネルギー研究開発拠点化計画」を中心とした「これからの『もんじゅ』」について理解促進を狙った紙面構成とした。紙面はQ&A方式とすることで分かりやすさに留意し、また文部科学省として地域住民に説明することを第一義とし、もんじゅ廃止措置対策監の明野吉成氏をインタビューした内容で紙面を構成した。



高遠核発電所「もんじゅ」

「もんじゅ」の廃止措置計画の進捗状況について、県民の皆様へお知らせいたします。

Table with 2 columns: Year and Event. It lists key milestones from 1994 to 2017 regarding the 'Monju' shutdown plan.

「もんじゅ」の廃止措置計画の進捗状況について、県民の皆様へお知らせいたします。

「もんじゅ」の廃止措置計画の進捗状況について、県民の皆様へお知らせいたします。

「もんじゅ」の廃止措置計画の進捗状況について、県民の皆様へお知らせいたします。

「もんじゅ」の廃止措置計画の進捗状況について、県民の皆様へお知らせいたします。

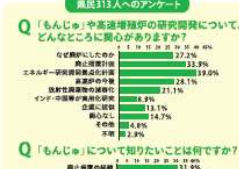
「もんじゅ」の廃止措置計画の進捗状況について、県民の皆様へお知らせいたします。

「もんじゅ」の廃止措置計画の進捗状況について、県民の皆様へお知らせいたします。

「もんじゅ」の廃止措置計画の進捗状況について、県民の皆様へお知らせいたします。



高遠核発電所型原子力発電所「もんじゅ」については、2016年12月に廃止措置への移行の方向として決まりました。



「もんじゅ」の廃止措置計画の進捗状況について、県民の皆様へお知らせいたします。

これまでの「もんじゅ」これからの「もんじゅ」

県民の皆さまに安心していただけるよう、地元のご理解を得ながら、政府が責任を持って廃止措置を進めてまいります。

文科科学省もんじゅ廃止措置担当 明野 吉成 氏

昨年5月、もんじゅ廃止措置が正式に決定しました。

文科科学省の責任者である高遠核発電所廃止措置推進委員会が、もんじゅの廃止措置を進めてまいります。

高遠核発電所「もんじゅ」の廃止措置として、もんじゅの廃止措置を進めてまいります。



「もんじゅ」の廃止措置計画の進捗状況について、県民の皆様へお知らせいたします。

「もんじゅ」の廃止措置計画の進捗状況について、県民の皆様へお知らせいたします。

「もんじゅ」の廃止措置計画の進捗状況について、県民の皆様へお知らせいたします。

「もんじゅ」の廃止措置計画の進捗状況について、県民の皆様へお知らせいたします。

「もんじゅ」の廃止措置計画の進捗状況について、県民の皆様へお知らせいたします。

「もんじゅ」の廃止措置計画の進捗状況について、県民の皆様へお知らせいたします。

「もんじゅ」の廃止措置計画の進捗状況について、県民の皆様へお知らせいたします。

「もんじゅ」の廃止措置計画の進捗状況について、県民の皆様へお知らせいたします。

「もんじゅ」の廃止措置計画の進捗状況について、県民の皆様へお知らせいたします。

「もんじゅ」の廃止措置計画の進捗状況について、県民の皆様へお知らせいたします。

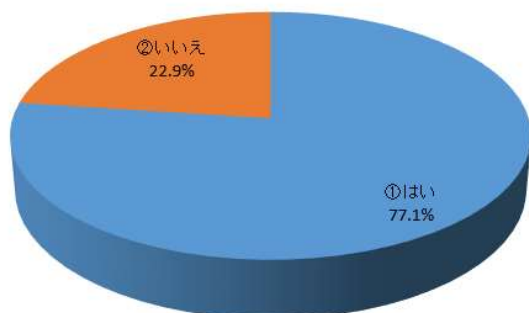
「もんじゅ」の廃止措置計画の進捗状況について、県民の皆様へお知らせいたします。

新聞本紙の構成より平易な表現に変更し、イラストを多用する等誌面デザインにも配慮することで、主読者層である女性や若年層に対して分かりやすい誌面とした。

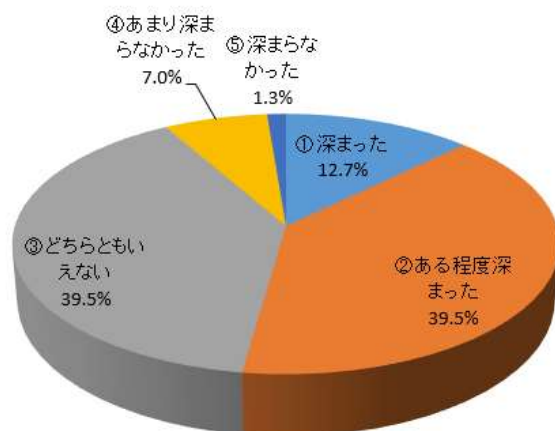
福井地区	3月11日実施	エルパ（福井市大和田町 2-1212）
敦賀地区	3月10日実施	アビタ敦賀（敦賀市中央町 1-5-5）

【事後アンケート結果】

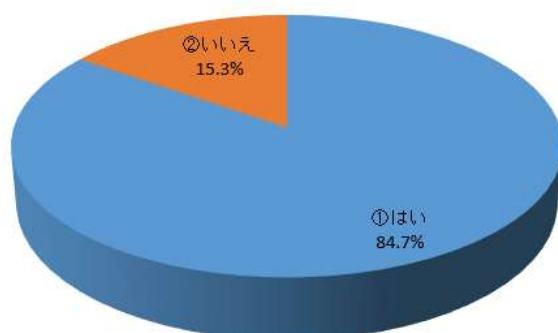
質問1：新聞本紙の紙面は見やすいと思いますか？



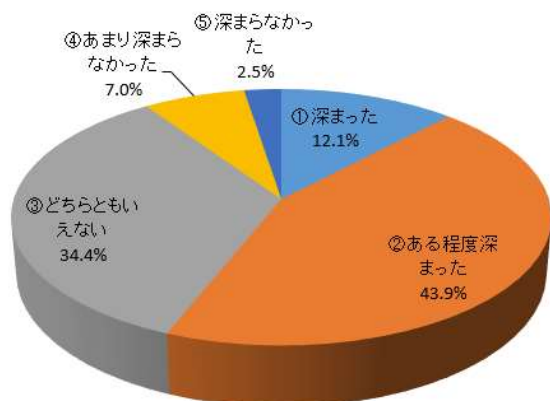
質問2：新聞本紙を読んで、廃止措置決定後の文部科学省の取り組みについて理解が深まったと思いますか？



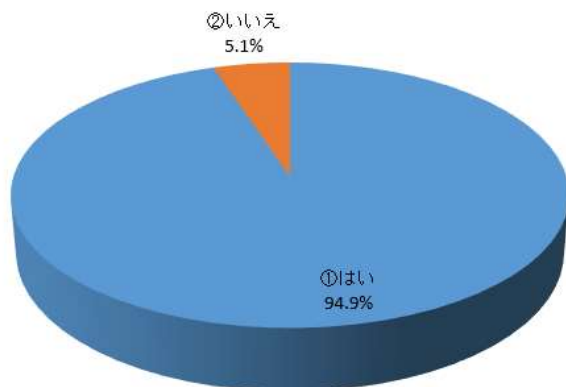
質問3：月刊 fu（ふう）の誌面は見やすいと思いますか？



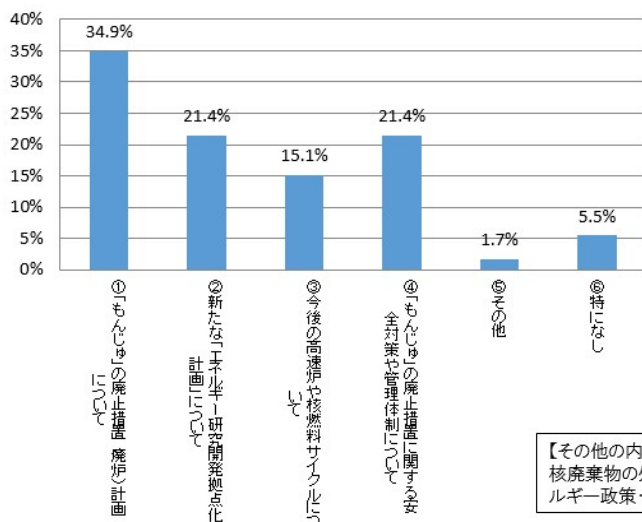
質問4：月刊 fu（ふう）を読んで、廃止措置決定後の文部科学省の取り組みについて理解が深まったと思いますか？



質問5：今後このような「もんじゅ」に関する情報発信は必要だと思いますか？



質問6：今後「もんじゅ」についてどのような情報を知りたいですか？



【その他の内容】
核廃棄物の処分地について／基本的な役割、仕組み／現状／今後のエネルギー政策・ビジョン

[評価指標の達成状況]

- ・ 基礎的な知識の理解促進
アンケート結果：肯定的回答の割合=54.1%
 - ・ 知識の理解促進の実施・手法
アンケート結果：肯定的回答の割合=80.9%
 - ・ 知識の理解促進の実施の持続
アンケート結果：肯定的回答の割合=94.9%
 - ・ 高度な知識への興味・関心の波及
アンケート結果：肯定的回答の割合=62.7%
- ※「廃止措置決定後の文部科学省の取り組みについて理解が深まった」54.1%
「今後『もんじゅ』についてどのような情報を知りたいか」71.3%
上記2つの項目の平均値として62.7%とした。

[福井会場]

エルパ（福井市大和田町 2-1212）



[敦賀会場]

アピタ敦賀（敦賀市中央町 1-5-5）



業務評価委員会

平成30年3月14日に実施した業務評価委員会（実施場所：福井放送本社）にて実施内容を検証し、理解促進に係る効果や今後の課題などの評価・意見を行った。評価は、妥当性・有効性・効率性・印象性と持続性について行われ、総合評価は「A」であった。

[評価委員（外部有識者）3名]

- ・ 砂川武義 氏（原子力）
- ・ 早川 公 氏（コミュニケーション）
- ・ 平塚幹夫 氏（財政・運営）